

# わたしの仮設住たくを住み良くするために

西原村立山西小学校 4年 山口 莉央

## 1 研究の目的

4月16日の熊本地震で家が全壊してプレハブの仮設住宅に住むことになったので、どうしたら仮設住宅で夏をすずしく過ごせるかを研究することにした。

|     |    |    |       |
|-----|----|----|-------|
| お風呂 | 玄関 | 台所 | 自分の部屋 |
| トイレ |    |    |       |
| 寝室  |    | 居間 |       |

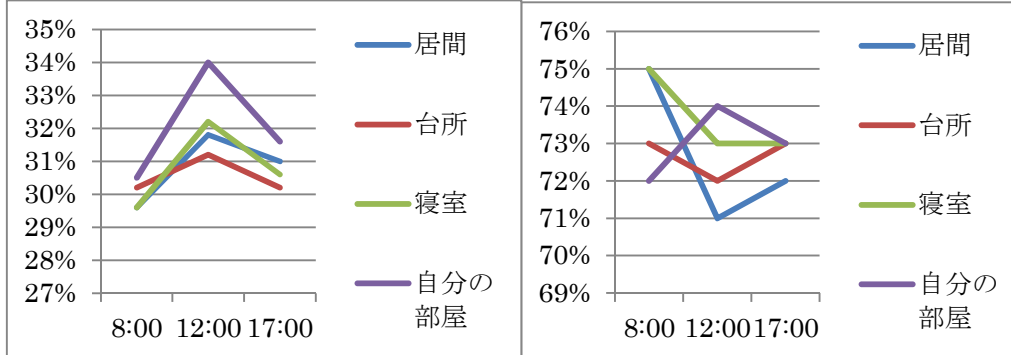
## 2 研究の方法と結果

(1) 部屋ごとの気温と湿度を調べた。(自分の部屋、居間、寝室、台所)

(2) 色々なすずしくなりそうな工夫をして、部屋の気温とすずしさの感じ方を調べた。

結果

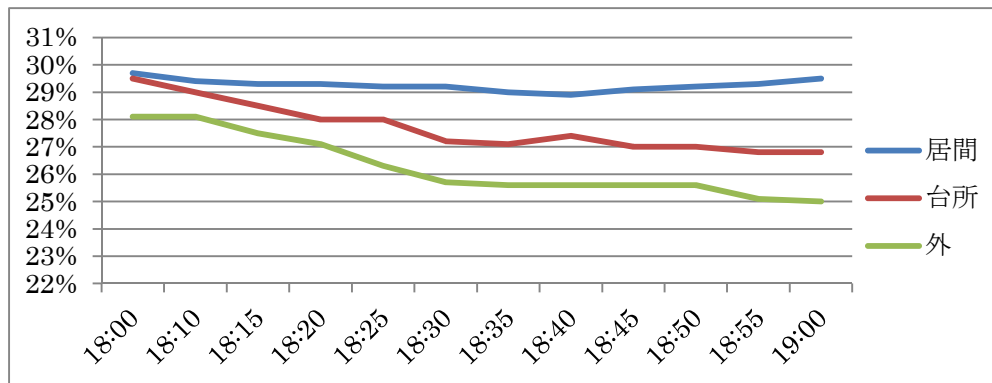
(1) 部屋ごとの気温と湿度 (8月5日 晴れ)



・部屋の温度と湿度は部屋ごとにちがい、南側にある居間が一番気温が高かった。湿度は寝室や居間の朝が高かった。

(2) すずしくするための工夫と部屋の温度

○窓と玄関を開けて居間と台所の間に扇風機を置いて回す。



・夕方から夜にかけては外の気温より家の中の気温が高かった。窓と玄関を開けてせん風機を置くことで、外の冷たい風が入って部屋の温度が下がった。せん風機が回っているとすずしく感じた。

- 玄関にすだれをつける
- 家の南側にひさしをつける。

## 3 研究のまとめと感想

玄関(北側)に「すだれ」をしても部屋の温度は下がらなかった。南側から日がさしこまないように、「ひさし」をつけることで、部屋の温度が上がるのをふせぐことができた。まどと玄関を開けて、せん風機を回して風の通りを良くすると、部屋の気温があまり上がらず、すずしいことが分かった。同じ仮設住宅に住んでいる人に、すずしく過ごす工夫をたずねると、色々な工夫をされていて参考になった。今度は、冬になって寒くなったとき、より暖かく過ごすための工夫も調べてみたい。